

第7回日本ミックスダブルスカーリング選手権大会

チームミーティング資料
(審判長事前通知)

青森市スポーツ会館

平成26年2月19日(水)～2月23日(日)



この文章は、大会の競技に関する事項をまとめたものであり、大会の開始に先立って出場するチームに大会事務局を通じて配布されます。

したがって出場する選手、コーチもこの文章を事前に必読し理解しておいて下さい。大会当日も持参願います。(JCA競技規則, 2010, 06版黄色表紙、但しWCF競技規則一部改正事項を適用)

尚最終的な競技説明は2014年2月19日(水)午後12時40分からスポーツ会館 会議室でチームミーティングを行います。

選手、コーチはJCA競技規則C2(h)の項を確認のこと。

平成26年2月

大会審判長 對馬 光雄

カーリング精神

カーリングは技術と伝統のゲームです。技を尽くして決められるショットは見る喜びです。また、ゲームの神髄に通じるカーリングの古くからの伝統を見守るは素晴らしいことです。カーラーは勝つためにプレーしますが、決して相手を見くんだりしません。真のカーラーは、不当に勝つのであればむしろ負けを選びます。立派なカーラーは、相手の気を散らしたり、相手がベストを尽くそうとするのを決して妨げたりしません。カーラーは、ゲームの規則やその伝統を決して故意に破りません。しかし、彼が不注意にも規則や伝統を汚し、それに気づいた時には、彼は違反を真っ先に申し出ます。カーリングゲームの主な目的が、競技者の技術の粋を競うことである一方、ゲームの精神は立派なスポーツマンシップ、思いやりの気持ちと尊敬すべき行為を求めます。この精神は、アイスに乗っているいないに関わらず、競技規則の解釈や適用に生かされるべきであるだけでなく、全ての参加者の振る舞いにも生かされるべきものです。

1. ラインナップカードについて

チームミーティング終了後に審判長に提出してください。
コーチの登録は1名とし、補欠選手の登録は有りません。

2. 競技方法

今大会は以下の競技方式で行われる。

予選（ラウンドロビン）は8チーム（1回総当たり）2ブロック、計16チームの予選ラウンド。各ブロック上位2チームが決勝トーナメントに進む。

タイブレーク（必要に応じて）

準決勝（予選A 1位 vs 予選B 2位、予選B 1位 vs 予選A 2位）

決勝及び3位決定

3. 順位決定方法について

プレーオフ進出がかかる同順位のチームはゲームを戦って負ける以外の判定でプレーオフ進出から敗退することはない。

予選終了後チームの順位決定はJCA競技規則C9(c)項の基準による。

4. ストーンの割り当てについて

予選ラウンドでは、スケジュール表で左側に記載しているチームは赤色ストーンを、右側に記載しているチームは黄色ストーンを使用する。A、Bブロック各第一試合はトスで決定する。

5. 試合の長さについて

今大会は8エンド、タイブレークは6エンドで行います。

尚、8エンドゲームでは少なくとも6エンド終了する必要があるあります。

6. 用具について（ストーン）

今大会は電子ホッグライン機器を使用します。

各自セットをしないで投球した場合は違反ストーンとみなします。

ただしローバッテリー（赤緑の交互点滅）やセットしても点灯しない時は速やかに審判員に連絡してください。

7. 計時について

今大会全試合計時を行います。

8エンドの試合時間は46分、4エンド終了時点で、5分間のブレークが与えられ、コーチ、コーチ関係者に会うことができます。

エキストラエンドは8分、タイブレークは36分で行います。

どちらかのチームが試合開始時間に遅れた場合、終了したとみなされる各エンド6分持ち時間を減らす。カーリングの規則R11(i)

エンド・エンド間のデットタイムは1分間となっております。
いわゆる50秒ルールの適用は行いませんのでスムーズに試合を行うよう
お願いします。なお、時計はティーライン通過または、1分経過のどちら
か早い時点で動き始めます。

8. 試合前練習について

全てのゲーム開始15分前より5分間赤色ストーンチームから行います。
終了後直ちにLSDを実施する。その後黄色ストーンチームが同様に実施する。
LSDの距離の短いチームがストーンの配置を決めてください。

9. ハウス前のストーンの位置について

ストーンの位置はアイスメーカー、審判長協議のうえAの位置を決めます。

※（置石）のストーンは7、8番のストーンとします。その試合で使用しない石
は各チームで試合前練習後に1～6番の中で自由に一個を決めてください。

10. チームタイムアウトについて

各チームは8エンドの試合ならびに、エキストラエンドでは60秒のチームタイ
ムアウトを1回取ることができる。プレイヤーは両手で[T]の文字を作ってタ
イマー席に向かってタイムアウトの合図する。

コーチとの話し合いはホッグライン間の各隅、またはハックの後方のみとし
ます。なお、コーチが氷上を移動する場合はシートの隅を歩行願います。

移動時間はホーム側で60秒、ボード側で90秒とします。

計時は移動時間終了又はチームとの話し合いがなされた時点で計時がスタ
ートします。

60秒のチームタイムアウトが終了した時点で、コーチは話し合うのを終え
すぐにプレーエリアを離れなければならない。

コーチのいないチームではタイムアウトは取れません。

11. ユニホームについて

JCA競技者ウェア規定を守ること。

但し、今大会では色については、ダークとライトの2色を必ずしも用意しなく
ても良い。（一色でも可能）

12. 得点について

基本的には、シート脇の審判に得点を教えてください。

【お願い】

今大会審判員が少ない場合がありますので、そばに審判が居ない場合には
エンドの得点を後攻チームの方がいれていただくようお願いいたします。

13. 準決勝以降の選択権について

DSCの短いチームが先練、後練を選択する。もしくはストーンの色を選択する。

14. アイスへのダメージ

選手は用具、手、体でアイス表面にダメージを与えてはいけない。アイスへのダメージに関しては以下の方針で対処を行なう。

- (a) アイスを傷める可能性のある深刻な動作・行動が審判によって見掛けられた場合、または相手チームから判断を求められた場合、審判は計時を止め、確認を行なう
- (b) 審判はその動作・行動が「偶然起こった」あるいは「避けることのできた」のだったかどうかを決定する
- (c) もしその動作・行動が避けることのできるものだった場合(例: ストーンをデリバリーしてから長い時間手やひざをアイスの上に置いた・スイープの指示を出す際に、ハウス内の氷の上に手を置いた)、アイスメーカーの補助を得てダメージがあるかどうか判定する
- (d) ダメージがなければ何も行なわない。ダメージがあれば修復する。

手順:

- (i) チームミーティングでの警告、手順の説明
- (ii) 1回目 = 最初の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iii) 2回目 = 2回目の公式なオンアイスでの警告、アイスの修繕
- (iv) 3回目 = アイスの修復、選手のゲームからの退場

15. スタビライザー（グライダー）の取り扱いについて

スタビライザーでデリバリーを使用するプレイヤーは、相手チームのデリバリーする前までに邪魔にならない場所に片付けてください。そのままシートのセンター寄りに置かれている場合等は時計が動き続けます。

16. 計測について

計測の要求があった場合は、選手は関係のない全てのストーンを取り除き、ホッグラインかハックの後ろまで離れて審判の為に場所を空けてください。

ハウスを任されている者は計測に立ち会っても良いが、計測を妨げない位置に居なければならない。

いずれかのチームは、再計測の要求する権利を有する。

17. 不当な行為

不当な行為、ヤジや不快な言動、用具の乱用、チームメンバーや大会関係者への故意に危害を加えてはならない。違反行為に対しては退場処分が科せられる。

18. 喫煙について

競技施設内はすべて禁煙です。決められた場所で喫煙をお願いします。

19. 携帯電話

競技領域に入る前に携帯電話の着信音は切っておくこと。

20. 報道について

カーリングを行うには報道機関の支援が必要です。したがって、全ての選手、コーチ、チーム関係者の常識的な要求には協力することが求められますが、何か問題がある場合は審判長、副審判長に申し出てください。

21. 整理整頓について

競技領域は常に整理整頓しておき、ごみは全て持ち帰ることを原則とする。試合中は、ホーム側の得点ボードの後方に荷物・ウェア等をまとめて置いてください。

22. その他

プログラムに記載されている試合時間は、あくまでも予定時間です。試合経過により変更になる場合や、試合が行われるシートが変更になる場合もありますのでご了承ください。

試合が続行されている場合でも、試合が終了したシートからアイスメイクを行う場合もありますのでご了承ください。

判定及びその他、試合に関するチームからの質問は審判長が対応します。審判員は配置しますが必要最低限の人数となっていますので、基本的にはセルフジャッジで試合は行っていただきますのでご了承ください。飲食した物は自分たちで試合会場から外へ持ち帰ってください。

GOOD LUCK and GOOD CURLING